



西播磨

相生市・たつの市・赤穂市・中央市・太子町・上郡町・佐用町

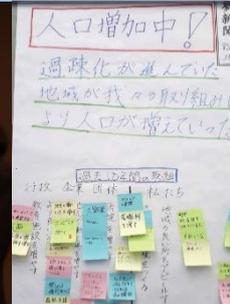
西播磨地域ビジョン情報誌

きらきら通信

NISHIHARIMA KIRA KIRA TSUUSHIN

2020.03

No.40



令和2年2月11日(火・祝)
13:00~16:30
上郡町生涯学習支援センター




西播磨地域ビジョン委員会・西播磨県民局
Presents

西播磨の夢づくり2030

—未来の新聞(夢新聞)は語る—

西播磨地域夢会議



西播磨地域夢会議(令和2年2月11日開催)

- 委員長あいさつ 1
- 夢会議概要 1
- 夢会議開催結果とまとめ 2
- 推進チーム紹介 3~6
- 出る杭大会の紹介 7
- 編集後記 7



発行 西播磨地域ビジョン委員会

委員長挨拶

ビジョン委員3期6年を振り返って



第9期

西播磨地域ビジョン委員会
委員長 伊藤 一郎

私は第7期の「森・川・海」の学習と再生チームに所属しました。娘が小学生の時に、私の運転で四万十川を上流から海まで旅行した感激をメンバーに知っていただきたかったです。平成26年11月4日から5日にビジョン委員11名で出発し、四万十川の沈下橋の下を遊覧船で視察し、次に四万十市のトンボ公園を視察しました。この視察によって多様な生物の生存を破壊しているのは、人間社会の営みであることを自覚しました。

第8期は「森からの命をいただく」チームに所属し、宍粟市の森林セラピー応援隊養成講座を宍粟市観光協会の協力で行いました。メンバーは、森の大切さを十分に理解できたと思います。

第9期では、「環境再発見」チームで、太陽光発電の問題に焦点を当てました。神戸市の太陽光発電の条例を勉強するために神戸市担当職員から説明を受け、整理したパンフレットはなかなかの物です。また、今年より「出る杭大会」の運営がビジョン委員会主体となり、ビジョン委員の皆様には運営にご協力をお願いします。

最後に、このきらきら通信を読んでいる皆様がビジョン委員会に参加されることを期待して私からの挨拶といたします。

西播磨地域夢会議

西播磨の夢づくり 2030

—未来の新聞(夢新聞)は語る—

開催
結果

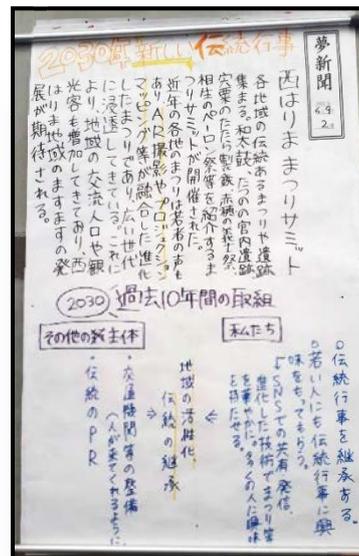


夢新聞づくり(ワークショップ)の様子

日時 令和2年2月11日(火・祝)
13:00~16:30

場所 上郡町生涯学習支援センター
参加者 136名

完成した夢新聞



プログラム

【第1部】

オープニング

●開会あいさつ

西播磨地域ビジョン委員会 委員長 伊藤 一郎

●ワークショップ

コーディネーター 関西福祉大学 教授 谷川 和昭

【第2部】

発表・講評

●来賓紹介

●夢新聞の発表

●講評

兵庫県副知事 金澤 和夫

●閉会あいさつ

西播磨地域ビジョン委員会 副委員長 浅野 一裕

西播磨の夢づくり 2030

令和元年度・西播磨地域夢会議は、【西播磨の夢づくり2030 ー未来の新聞（夢新聞）は語るー】と銘打って、令和2年2月11日（火・祝）、上郡町生涯学習支援センターにて、高校生50名を含む136名の参加を得て盛大に開催されました。

プログラムは別途掲載の通りで、第1部ではコーディネーターの谷川教授から、「10年後の西播磨に、あるいは自分の町に、起きて欲しいこと、起こるかも知れないことを、どんどん付箋に書いてください。どんな意見でも良いし、ダブっても結構です。突飛な意見は大いに歓迎です。そしてそれを整理しながら、10年後の夢新聞を作ってみてください。」と夢新聞の作り方の説明がありました。

各班は、ビジョン委員・一般参加者・高校生の混成9名をメンバーとして10班に分かれ、各会場に移動後、ワークショップによる夢新聞づくりをしました。まず自己紹介をしながら緊張感を和らげ、10年後の夢や希望を何枚でも付箋に書いて、「未来の出来事シート」に貼り付けます。若いも若きも夢を語れば、夢はどんどん膨らんでいきます。1人で考えると、どうしても偏ってしまいがちですが、仲間と一緒に話し合えば、また新しい世界が次々と開けていきます。

自分の思いを真剣に聞いてもらえる、仲間の意見を素直に聞ける、みんな和気藹々と楽しんでいます。さらに多くの傍聴者が、それぞれの班を取り囲んで雰囲気盛り上げています。まとめに入る頃には、熱気は部屋中に充満していました。時間いっぱい各班は何とか仕上げ、第2部では、会場を大ホールに移して、いよいよ夢新聞の発表です。



西播磨地域夢会議



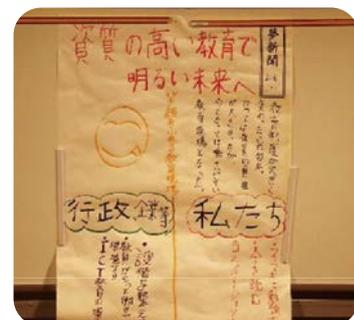
各班の夢新聞の見出しは、（1班）子どもの声が絶えない町の秘密とは!?（2班）2030年新しい伝統行事（3班）ネイテクシティー・ウエストハリマ（4班）どこでもドア到来（5班）安心・安全ムービングロード完成（6班）自然いっぱい「西播磨」（7班）西播磨ニュータウン完成 その名もパリピタウン!!（8班）遂に誕生!!AIで繋がる西播磨の町（9班）資質の高い教育で明るい未来へ（10班）人口増加中!?

各班とも4～5名の高校生が壇上に上がり、堂々と発表する姿に、会場から何度も賞賛の拍手が湧き上がりました。年長者が高校生と一緒に話し合えたこと、高校生同士が、将来を語り合いながら親交を深めたことは非常に有益でした。今はたとえ夢物語と思われることでも、本気になって^{おも}念い、出来ると信じて、一生懸命努力を続ければ、夢は必ず手に入れることができるのです。

『為せば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬ成りけり』

今日作成したそれぞれの夢新聞を大切に保管して、10年後、みんなで広げてみることを楽しみにしましょう。

副委員長 浅野 一裕



★健やか子ども応援チーム★



私たちのチームでは、保育所、こども園などを訪問して、主に5歳児に対して論語、茶道、昔あそび、わらべ歌などの指導を行っております。

①挨拶はしっかり大きな声で。②返事はハイと元気よく。③くつ、スリッパはきれいに並べて脱いで次の人が気持ちよくなるように。この3つのことが身につくように話しています。

「命のまつり」という絵本を見て、先祖が100万人くらいずっとつながっているんだということを学びます。命はかけがいのない大切なもの、隣の子の命も大切、だからいじめやケガをさせてはいけません。自分だけ良かったらいいものではない。これからも命をつないでいかないといけない。

「孝経」では、父母を敬い祖先を敬う、年上の人を敬うことの大切さを知りました。

1月は論語カルタも楽しみました。ありがとうございます、魔法のことは。みんなを笑顔にします。たくさんのありがとうございますと言えますように。

茶道ではご挨拶（おさきに結構なお手前でした）やお運びも上手になり、順番を待つことで、耐えることや思いやる心も育ってきました。はじめはお茶をいただけなかった子も、今は美味しいと言ってくれます。

2月にはお家の方を招いて、論語やお茶をおひろめしました。

最後に子ども一人ひとりに西播磨地域ビジョン委員会より、論語は「修了証書」、茶道は「頑張ったで賞」が授与され、初めての大きなご褒美を手にとっても嬉しそうでした。園長先生、担任の先生方と共に、今年一年大きく成長した姿を見て、喜びと感謝で、またこれからも頑張ろうと気持ちを新たにしました。

広報部員 中野 愛子

★出る杭応援隊★

第9期地域ビジョン委員会の任期も令和2年3月31日をもって終了を迎えます。そして各チームに所属されているいろいろと活動をされてこられた皆様ご苦労様でした。

出る杭応援隊も、2年間いろんな地域の方々の活動を見学研修して、交流を深めてまいりました。当初の目標でありました、近年いささかマンネリ化していると思われる出る杭大会の活性化を目指し、新しい地域団体に出場してもらうべく、交流をしてまいりました。

第1回目は相生市の海の家交流ハウスで子どもたちと標本づくり、宍粟市の国見の森公園にて行われた「くにみまつり」に参加して森林セラピーを体験したり、佐用町では宿場町平福での街並みの見学、施設の説明を受け、平福地域づくり協議会が取り組んでいる「佐用みん活」の説明などをしてもらいました。また、たつの市光都プラザにて「子どもの遊び場を考える会赤とんぼ」の活動を手伝いました。2年間ほかにもいろんな地域団体の活動に参加して交流を深めてまいりました。これらの活動を通じて少しでも新しい仲間ができ、令和2年4月29日の第19回出る杭大会に参加して、おおいに大会を盛り上げていただける活動団体が出てきたら幸いです。



佐用町 平福

広報部員 谷本 卓

★安全第一チーム★

西播磨地域の公立高校を対象に2年前に第8期生活安全推進チームが開催された「西播磨地域高校生防災サミット」の活動を引き続き実施したいという思いから、高校生の防災・減災の学びを深め、防災・減災活動を活性化させることを目的に第9期安全第一チームによる2回目の「西播磨地域高校生防災サミット」を令和元年11月4日（月・振休）に兵庫県先端科学技術支援センターにて開催しました。

休日にも関わらず、西播磨地域からは8校の高校、ゲストの兵庫県立舞子高等学校および神戸市立神港橋高等学校の高校生と教職員、赤穂防災士の会、たいし防災リーダー会、ビジョン委員を含め143名の方に参加いただきました。

遠藤西播磨県民局長の挨拶に続き、午前中は、環境防災科を設置して防災教育に力を入れている兵庫県立舞子高等学校、防災・支援活動が行われている神戸市立神港橋高等学校の高校生による活動発表を行いました。

昼食は、より実践的に学んでもらえるよう、兵庫県立赤穂高等学校による「紙皿作成」および西播磨フードセレクション受賞食品を活用したパッククッキングを行い、各自作成した紙皿を使用し、パッククッキングを試食しました。

午後からは、西播磨地域の各校の取組発表を実施、各校の発表後には積極的に質問が出ており、学びが深まっている様子を感じ取れました。

ブース展示では、各校のパネル展示などのほか、赤穂防災士の会、たいし防災リーダー会の協力により段ボールベッドや簡易トイレによるプチ避難所体験や非常持ち出し品の展示・説明を実施し、防災意識の更なる向上に役立ちました。

この「西播磨地域高校生防災サミット」の各校の発表内容およびワークショップで実施した紙皿作成・パッククッキングについては、より多くの方に学びを共有させていただくため、冊子にまとめ各関係機関に配布を予定しています。

参加された高校生たちは、各校素晴らしい防災・減災への取組を行われていました。今後、社会に出られた後も防災・減災に対し興味を持っていただき、社会の一員として防災・減災活動を行っていただきたいと願っています。

最後になりましたが、お忙しい中、本企画に対し、ご協力賜りました、各高校の皆様、赤穂防災士の会、たいし防災リーダー会、西播磨地域ビジョン委員、事務局の方々には厚くお礼申し上げます。

チームリーダー 田淵 誠人



★西播磨自然探検隊千一ム★

西播磨の自然を知り、その良さを守り継いでいくことを目標とした私たちのチームは、6回の「探検会」を催し、その糸口を探って参りました。

山の木々からは私たちを癒し自然をはぐくむ素晴らしい大気が生まれます。

「害獣」とも呼ばれる獣たちもその自然の中で生まれ、私たちと共に生きています。

川の流れは様々な生き物を育て、山から海へと「いのち」を繋いでいます。

山の恵みが流れ込む海では、その恵みにより新たないのちも生まれます。

揖保川と千種川の二大河川が源流から海まで流れるこの地域を様々な角度から探検し、それぞれの場で恵まれた自然を守り育てようとしてされている方々と出会いました。

温暖化の為に変化しつつある魚種に対応し、変化を考えられている室津の漁師の方々、20年近くにわたり観察、記録が続けられている千種川流域の方々、「清流」になり過ぎた揖保川を問題とされた揖保川漁協の方々、その他狩猟や野鳥観察をされているの方々のお話を伺いつつ、私たちは環境変化への対応をしつつ与えられた自然を未来へ繋いでいかなばならぬという責任を感じました。



福井大池(太子町)



国見山(宍粟市)



秋里川(佐用町)

広報部員
野原 建広

★環境再発見千一ム★

私たち、環境再発見チームではマイクロプラスチックの発生源について調査活動をしました。

環境省の定義では、プラスチックのうち、大きさが5mm以下のものをマイクロプラスチックといいます。プラスチックごみの問題は、メディアでもよく取り上げられており、各自治体も分別収集に取り組んでいます。

その一方で、プラスチックごみの一部は中国や東南アジアの国に輸出されています。しかし、それらの国々では、プラスチックごみの輸入が禁止となり、行き場を失うプラスチックごみが増えています。そのまま廃棄されるものもあり、中には不法投棄されることもあると聞きます。焼却すれば良いと言う人もいますが、CO₂（二酸化炭素）が排出され、地球温暖化の原因にもなります。プラスチックは人類が発明した素晴らしい物質ですが、このように上手く処理されないと環境破壊につながる恐れもあるのです。

そこで、マイバッグを持って買い物に行くとか、リユース（再使用）やリサイクル（再資源化）ができる容器を使用するなど、なるべくごみが発生しない方法を考えてみてはどうでしょうか。脱石油製品を使うのも方法の一つです。

私たちができること、それはプラスチックのみに頼らない生活をする事。マイボトルの利用をはじめ、ごみの分別をきちんとするなど、私たちができることから取り組んでいきましょう。美しい地球を、未来の世代にも残していきたいものです。



広報部員 三好 初代

★史跡と食を巡るチーム★

史跡と食を巡るチームは、この活動期間中に西播磨地区各市町の山城に登り切り、パンフレットの作成を行ってきました。それぞれのお城の簡単な感想等は、これまでに発行したきらきら通信の記事でも触れていますので、是非ご覧ください。

そして、当チームは令和元年5月以降、第9期活動の集大成として、活動開始当初からの目標であった山城パンフレット作成に力を注いできました。それぞれの山城の歴史や登った感想を文面に落とし込む作業が続いたのですが、色々な経験をしたことから書きたいこと、盛り込みたいことが多く、編集会議の中で様々な意見が飛び交いました。歴史もそうですが、古民家を改修したカフェ等の情報も載せており、ページ数に限りがある中でも充実した内容にできたかなと思っています。県民局の皆様のご理解もあり、8ページにもわたるパンフレットにまとめることができ、良いものを作ることができたと感じております。

皆様も、もし山城に興味をお持ちでしたら、各市町観光協会様等へお配りしておりますので、手に取っていただき、私たちの2年間の活動の成果を確認してもらえましたら幸いです。

広報部員 森岡 典子



★西播磨交流大作戦チーム★

私たちは、この2年間の成果を「西播磨の古道を巡る～ドローン（空撮）で見る いにしへの道～」と題したパンフレットにまとめています。

今回は、西播磨地域を横断している3本の古道を選び

- ①古代美作道・因幡道（古代の十字路：佐用町）
- ②古代山陽道（布勢駅家：たつの市、野磨駅家：上郡町）
- ③近世山陽道（太田荘：太子町、矢野若狭野：相生市）

について、古代から近世さらに現代に至るまで整備が進み、人の往来を通して多くの文化・風習・建築技術などが受け継がれてきました。そこで、その古道に隣接する遺構を訪問し、専門家からの貴重なアドバイス、地域住民の方々との交流を通じて、いくつかの特有事象を知ることができました。

また、遺構と古道との関係を探るため、ドローン空撮（写真）を行い、周辺地形を知ることができました。

なお、上記のパンフレットには、訪問地写真（遺構地）も掲載しておりますので、思い巡らして頂ければ幸いです。

古代の美作道・因幡道
古代の十字路



佐用高校

チームリーダー
生駒 憲二

インフォメーション

第 19 回出る杭大会 開催延期のお知らせ

「第 19 回出る杭大会」は 4 月 29 日（水・祝）に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染リスクを防止するため、秋以降に延期させていただくことになりました。

延期日は決定次第、ホームページ等でお知らせします。



「西播磨・備前・美作 花めぐりmap」発行！

西播磨と岡山県備前・美作エリアを対象に、花々を楽しめるスポットを紹介する「花めぐりmap」最新版が発行されました。

光都チューリップ園(上郡町)をはじめ、赤穂御崎(赤穂市)や龍野公園(たつの市)の桜などが紹介されています。各地のグルメ情報のほか、スマートフォンで読み込むと各所の紹介サイトにつながるQRコードも掲載されています。



【配付場所】西播磨県民局、市町観光担当窓口、道の駅など

【問合せ先】西播磨県民局 県民交流室 地域づくり課 電話：0791-58-2144

HP と Facebook で活動を更新しています。是非ご覧ください！



兵庫県ホームページ（西播磨地域ビジョン委員会の活動状況）
URL：<https://web.pref.hyogo.lg.jp/whk02/vision/iinkai.html>



Facebook ページ(ネット de 応援し隊)
URL：<https://www.facebook.com/nettodeouensitai/>

編集後記

「夢の実現の公式」 1) 想いを持つ 2) 具体的なイメージで夢見る（潜在意識に入れる） 3) 熱く語る（手助けする人と出会う） 4) 目標に向かって突き進む 5) 夢がかなう 夢は言葉で自分のレベルをあげたうえで、誰かの助けがあってはじめて叶うものである ～ こんな公式に出会いました。

第9期ビジョン委員会の総まとめが今号のきらきら通信に、そして各チームの夢を叶えた成果が掲載されています。

「夢新聞」という新しい手法で開催された西播磨地域夢会議について、また、第19回出る杭大会のご案内も掲載されています。

きらきら輝く西播磨地域となりますように、第10期もビジョン委員会の活動を発信していきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

副委員長 金井 貴子



連絡先：西播磨地域ビジョン委員会事務局（西播磨県民局県民活動支援課内）
〒678-1205 赤穂郡上郡町光都2-25
電話：0791-58-2128 FAX：0791-58-0523